

標津町

8340 溝渕 恵一

1. 地名の由来

地名の由来としては、2説がある。1つ目は「シ si・ペツ pet＝本流（大きな川）」というもので2つ目は「シペ sipe・オツ ot＝サケが・多くいる」というものである。

なお、上川支庁に同名の読みの上別市があり、テレビ・ラジオ放送では混同を防ぐために、標津町には支庁名を冠して「根室標津」、上別市を「サムライ上別」などと呼ぶことがある。

表 1

1797 年 (寛政 9 年)	このころ、サケ漁が豊富であった。シヤリへ行く山越道もつけられた。
1856 年 (安政 3 年)	春には、鮭漁。夏には、漁方・大工・木挽・鍛冶をしていた。 夏から秋にかけては、鮭漁に従事していた者もいた。
1859 年 (明治 2 年)	根室国標津郡に属す。
1872 年 (明治 5 年)	標津村の一部となる。
1875 年 (明治 8 年)	標津漁場では、鮭、鮭、塩鱈などの収量があった。
1879 年 (明治 12 年) 4 月	戸長役場を標津に設け（標津町の開基）、標津と伊茶仁の 2 ケ村を統治し、6 月には標津郡戸長役場となる。
1880 年 (明治 13 年)	標津・目梨両郡戸長役場となり、管轄を標津村、伊茶仁村、薫別村、崎無異村、忠類村、植別村の 6 ケ村とする。
1884 年 (明治 17 年)	野付郡茶志骨村を編入し、標津外 6 ケ村戸長役場となる。 また、標津から斜里への新山道開削。
1901 年 (明治 34 年)	植別村が植別村戸長役場（現在の羅臼町）として分離する。
1911 年 (明治 44 年)	原野への入植が始まったが、道内各地へ一度入植した人の再入植が多かった。
1923 年 (大正 12 年)	二級町村制が施行され、標津外 5 ケ村戸長役場を標津村役場に改称する。
1926 年 (昭和元年)	標津～中標津間に拓殖軌道が開通し、木材の搬出が盛んとなる。
1937 年 (昭和 12 年)	国鉄標津線全通。
1946 年 (昭和 21 年)	中標津村（現中標津町）が分村。
1956 年 (昭和 31 年)	集約酪農地域に指定され、ジャージー牛の導入始まる。
1958 年 (昭和 33 年)	町制施行、標津町となる。

開基については赤色で

また、植民に関しては青色で

産業のなどのことについては緑色で示した。

3. 地理・気候

3.1 地理

北海道の、東側で海（根室海峡；図3）に面した場所にあり、根室支庁管内の中部に位置し町域は西半が知床連山から続く山地・台地（根釧台地）だが、東半は標津川・忠類川などの中小河川沿いに低湿な平地が広がっている。

経度は $145^{\circ}07'53''$ で、緯度は $43^{\circ}39'41''$ の地点である。

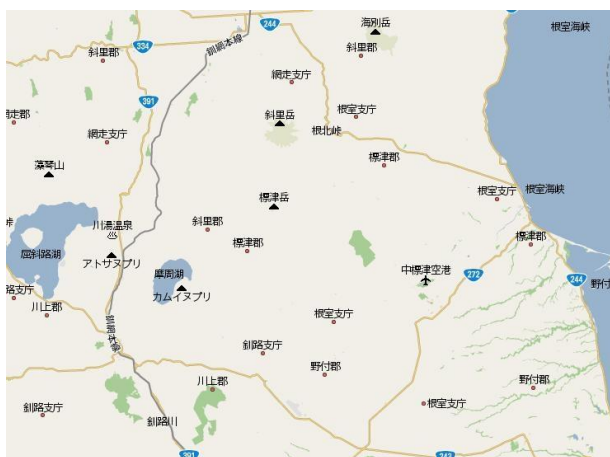
釧路市からは北東に約 120km、根室市からは北西に約 95km、中標津町からは東に約 20km に位置する。

図1 標津町の広域地図



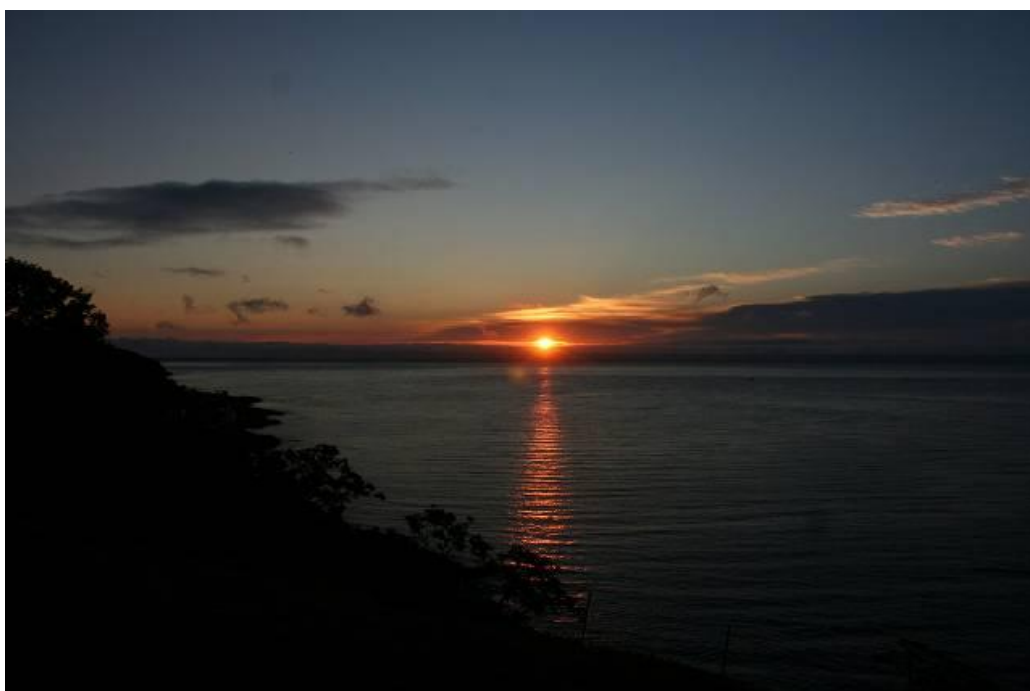
出展：Wikipedia

図2 標津町詳細地図



出展：Google

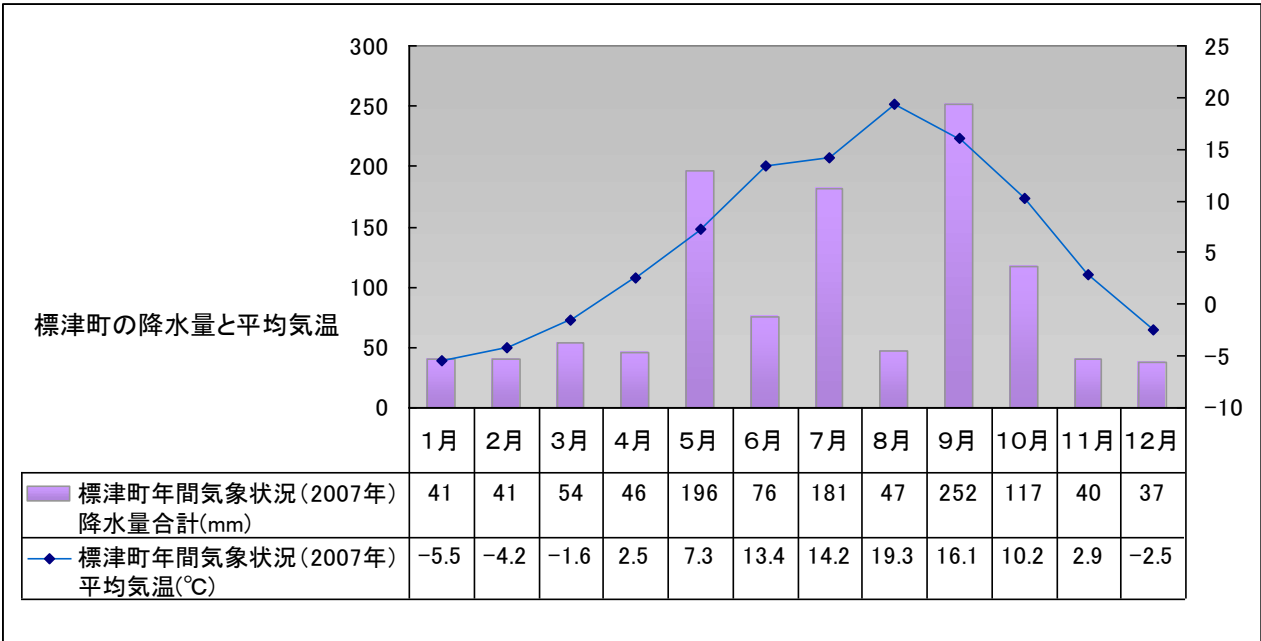
図3 根室海峡に昇る朝日



出典：知床世界自然遺産・知床国立公園羅臼ビジターセンター

3.2 降水量と気温

グラフ 1 標津町年間平均降水量と気温



出展：気象庁

5月・7月・9月に降水量が多い。それ以外の月では降水量はほぼ一律である。

気温に関しては、8月のもっとも暑い月でも 20℃という涼しい地域である。夏には、避暑地として観光に結び付けられるかもしれない。1年間のうち、4か月つまり3分の1が 0℃を下回っているということからも1年を通して気温が低いのである。

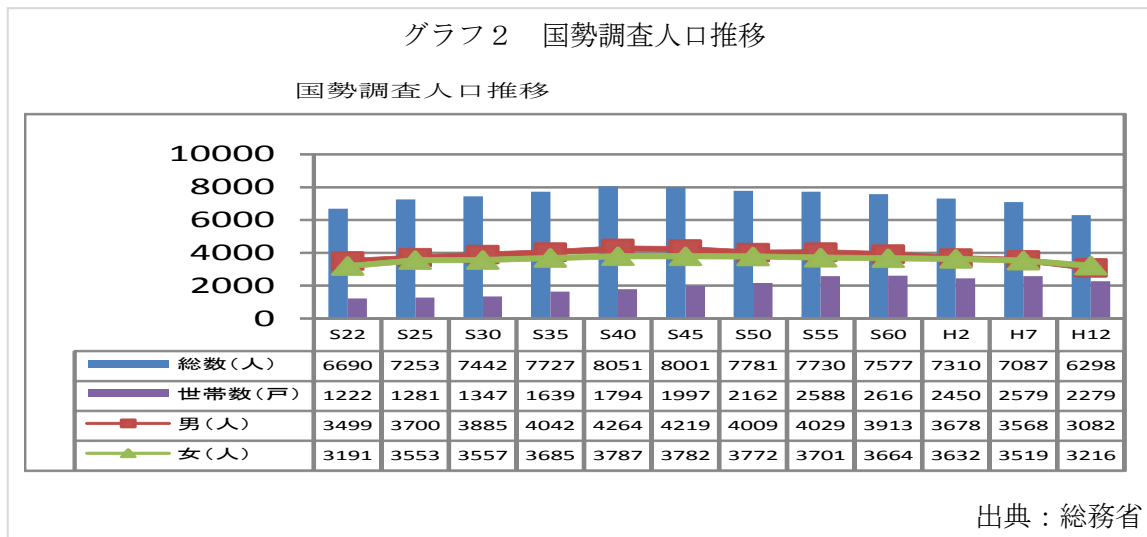
図 4 標津町の9月の様子



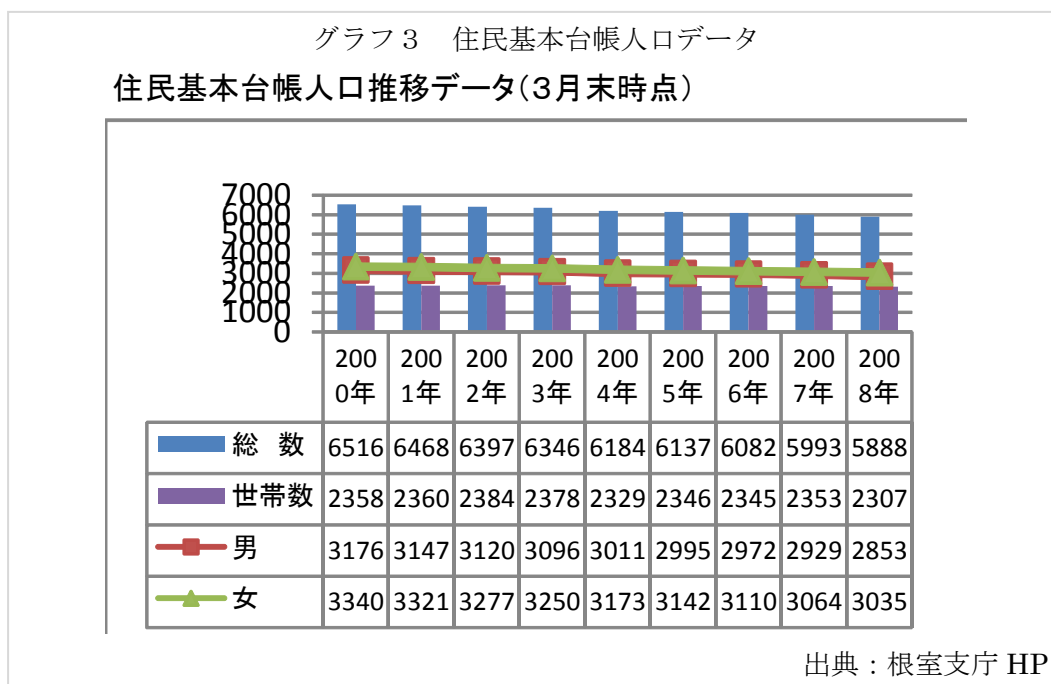
出典：ハイビジョン映像ライブラリ～季節の工房

4. 人口・世帯数推移

4.1 国政調査人口推移



4.2 住民基本台帳人口データ



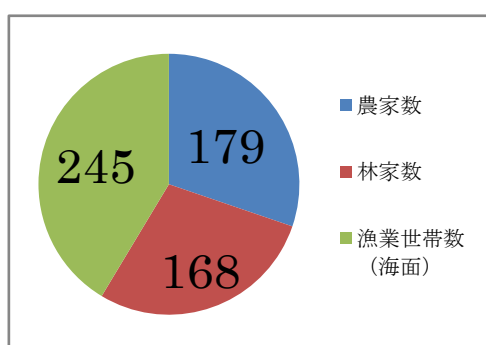
人口推移をみると、人口が減っていていることがわかる。そこで、標津町では、3年以内に住宅を建設し、町に住めば、「1区画当たり120坪から140坪の区画」を無償で分譲するなどして人を呼び込もうとしているが、まだこの制度自体が知られていないのが現状であると思う。この政策自体は悪くないと思うが、新たに何かを始めないと、このまま人口は徐々に減少していく一方になりそうだ。

5.産業

5.1 農業従業者

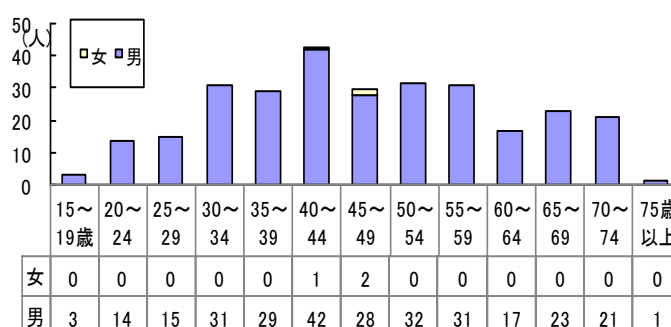
産業の従業者割合でいうと、漁業が最も高い割合を占めている。このことから、漁業は重要であることがわかるが、一方で年齢別のグラフをみると、30歳以上の人数はほぼ一定なのに対して若い人の就業者数は少ないことがわかる。高齢の人が中心になっていることもわかるが、日本の漁業が衰退して外国からの輸入に頼るようになっていく一端なのかもしれない。

グラフ4 農業従業者割合



出典：農林水産省 HP

グラフ5 性別・年齢別漁業就業者数

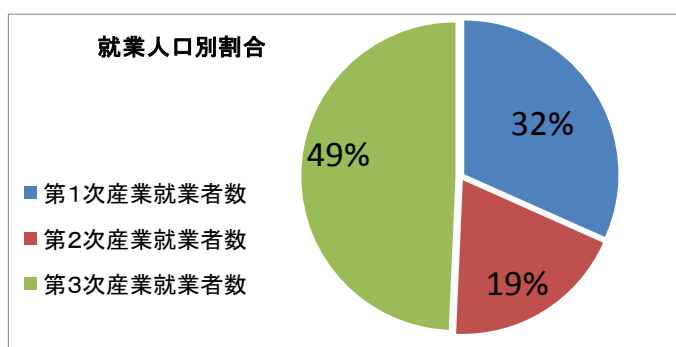


出典：農林水産省 HP

5.2 産業別人口

標津町は、第1次産業の割合が高く、第3次産業の割合は小さいことが読み取れる。これは、標津町が農業・漁業が盛んであるということを裏付けるものであろう。まさに、北海道らしいデータである。

グラフ6 就業別人口割合



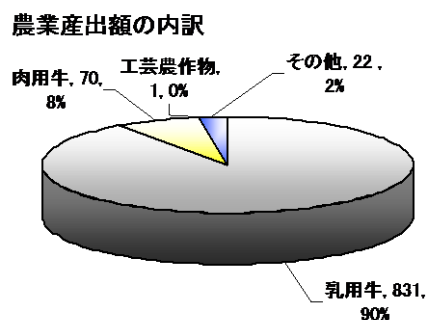
出典：農林水産省 HP

5.3 農業粗生産額

農業出荷合計は 924 千万円になる。また、標津町の農業産出は圧倒的に乳用牛の割合が高いことがわかる。このグラフだけで、北海道の地域であることが読み取れるほどの典型的なグラフとなっている。

(2005 年 2 月 1 日時点)

グラフ 7 農業産出額の内訳



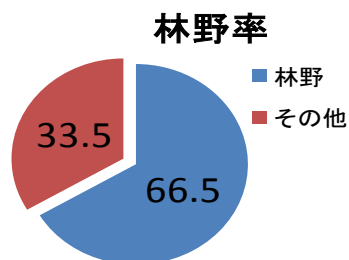
出展：農林水産省

5.4 林野率

日本の平均林野率は約 70%であり、標津町は林野率において（グラフ 8）、日本の平均とほぼ同じと考えることができる。また、グラフ 10 より北海道の林野率とほぼ同じであることもわかる。

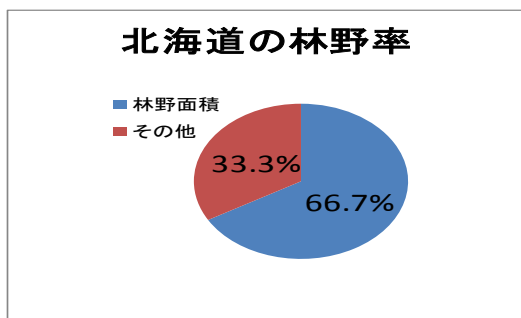
だが、グラフ 9により、私有林があっても半数以上は身近に住んでいないのである。そうすると、なかなか森林の様子を見たり手入れをしたりと、できないことにもつながる。それによって荒れ放題になる可能性も十分考えられる。そう考えると、標津町に住む魅力をさらに作る必要があるのではないだろうか。

グラフ 8 林野率



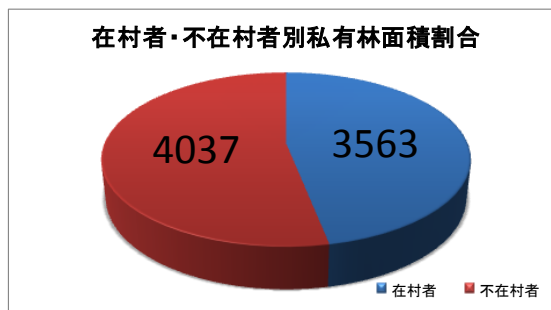
出典：農林水産省 HP

グラフ 10 北海道の林野率



出典：農林水産省 HP

グラフ 9 在村者・不在村者別私有地林面積割合



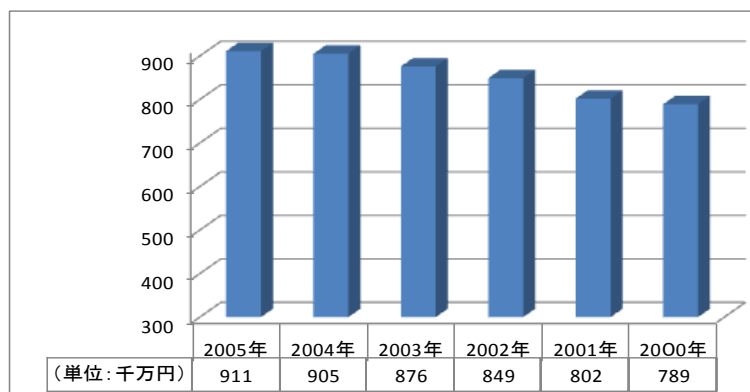
出典：農林水産省 HP

7. 農業の出荷

農業において主力なのは畜産である。また、てんさいの栽培もおこなわれているが、北海道内の市町村の中でトップ50に入っていないほどの少量の収穫量である。

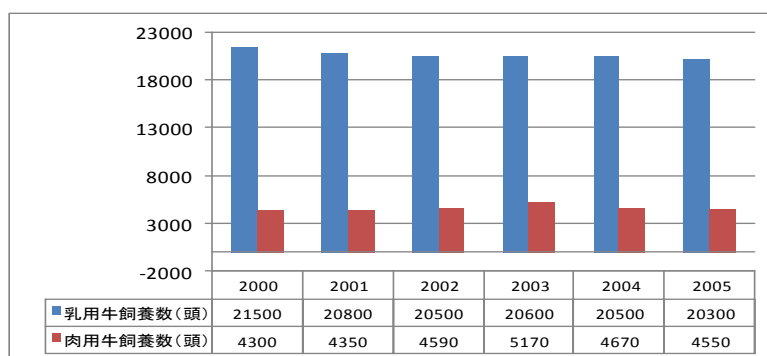
畜産について、徐々に出荷額が下がってきている。これは、近年の牛乳消費の低迷による価格の下落だけではなく実際に飼養頭数が減っているからであるということを読み取ることができる。肉用牛は2003年に飼養が一時多かったが、安定した頭数にはなっているのでこの状況がしばらく続くであろう。

グラフ 11 畜産出荷額推移



出典：農林水産省 HP

グラフ 12 畜産頭数



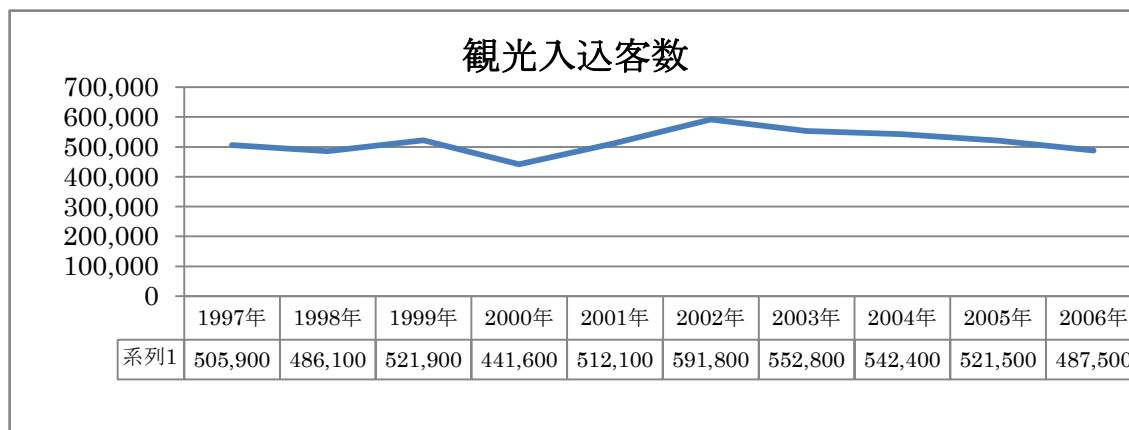
出典：農林水産省 HP

8. 観光

8.1 観光者入込数

観光入込客数は、ある程度一定であるといえよう。しかし、ここ数年の期間でみると、減少傾向にあるといえる。豊かな自然を売りにして観光者を呼び込むことが必要であろう。

グラフ 13 観光入込客数



出典：根室支庁 HP

8.2 観光名所

野付風蓮道立自然公園

野付半島、風蓮湖などの湿地帯・湖沼・砂嘴などが含まれ、貴重な自然が豊富である。

川北温泉

川北温泉の泉質は、塩分と硫黄分が多く含まれています、飲んで体にも良い。なんと、入浴料は無料！全国に愛好家がいるほど。

薫別温泉

神経痛・リウマチ・打撲・腰痛・冷え症に効く、65.8℃の暑いお湯。この温泉も無料！

標津サーモンパーク

世界のサケ科の魚を展示した水族館とサケの博物館の機能を持っている。標津川の鮭が遡上するガラス張りの水路が設けてあり、秋の産卵時期には、シロザケやマスが遡上する光景を直に観察できる。展望台もあり、知床連山、標津川、北方領土国後島が一望できる。併設して鮭にこだわった食事をいただけるレストランもある。

ポー川史跡自然公園

1 万年前の竪穴住居跡、四季折々草花が咲き競う標津湿原、開拓の村、歴史民俗資料館などからなる公園！

メロディーロード

法定速度で走ると加藤登紀子の「知床旅情」を聞けることができる。これを設置することで速度超過を抑制する効果もあると同時に、水はけも良好になる。標津町のメロディーロードは、全国で初めての設置のものである。

図5 野付風蓮道立自然公園



出典：日本吉

図6 サーモンパーク隣接 サーモンハウスの料理



出典：レストラン サーモン亭 HP

図7 メロディーロード



出典：北海道 SHS 会

参考文献

< 標津町役場 H P >

<http://www.shibetsutown.jp/>

< 標津百科事典 >

<http://www.shibetsutown.jp/dic/welcome.html>

< フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』 >

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

< Google マップ >

<http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&tab=wl>

< 知床世界自然遺産・知床国立公園羅臼ビジターセンター >

<http://rausu-vc.jp/>

< ハイビジョン映像ライブラリ～季節の工房 >

<http://seasonstudio.blog73.fc2.com/>

< 気象庁 >

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

< 北海道の川ポータル～With River～／標津川（しべつがわ） >

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_kasen/kawa/pro_sibetu.html

< 国土地理院 >

http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/CENTER/kendata/hokkaido_heso.htm

< 農林水産省 統計のページ >

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

< 根室支庁 >

<http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/>

< 総務省 統計局 >

<http://www.stat.go.jp/>

< 日本吉 >

<http://nippon-kichi.jp/>

< 標津サーモンハウス >

<http://www.shibetsu.net/salmonpark/house/index.html>

< 北海道 SHS 会 >

<http://www.shiretoko-shs.jp/>